

23-47 型 アーム式左右角度調節 石膏ボード専用テレビ壁掛け金具

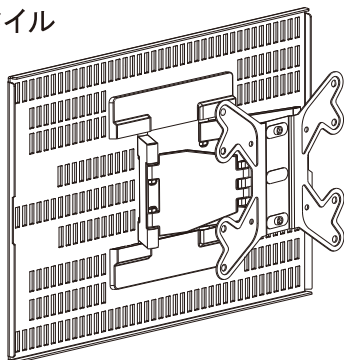
TVセッター×壁美人フリースタイル

FR400

設置マニュアル



壁美人



施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

| 取り付け前提条件 | テレビ背面对応ネジ穴幅 | 対応テレビインチ | 最大テレビ重量 |
|---|--|---------------------|-------------|
| テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事 | テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 100×100mm、200×100mm、 200×200mm | 23-47 インチ | 15kg |

ご使用・お取付にあたってのご注意

地震等の天災、及び、取り付け組み立て不良による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承下さい

この度は、スタープラチナ株式会社の商品をお買い上げ頂き、有難うございます。

当商品は、慎重に作業すれば個人でも十分に設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、無理な設置はしないで下さい。

販売元 スタープラチナ株式会社



製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912

受付時間10:00～18:00(土・日・祝除く)

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F <https://starplatinum.co.jp/>

※「壁美人」の特許権・商標権はATZM社所有の権利です。

MADE IN JAPAN

商品特徴：ホッチキスでテレビを壁掛け設置

当商品を用いて石膏ボード壁にホッチキスで薄型テレビを壁掛けする事が出来ます。壁に目立つキズを付けません（壁紙の表面がザラッとしているタイプであれば、穴は本当に目立ちません。）ので、マンションやアパート等の賃貸のお部屋でも気軽にテレビの壁掛けが可能です。

設置にあたっての最も重要な注意点



警告

表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に死亡、又は重傷等を負う可能性が想定される内容です。

●石膏(せっこう)ボード壁以外の壁面への取り付けは絶対にしないでください。

－石膏（せっこう）ボード壁の見分け方－

ピンなどの細い針を壁の目立たない場所に刺してみます。

1箇所刺さらなかっただけで「刺さらない」と判断せず、位置を左右どちらかに10cm程ずらしながら、何度かピンを刺してみてください。

壁にピンが刺さった場合、ピンの先端を見えます。ピンの先端に白い粉がついていれば、石膏ボードの壁です。上記の方法で判断がつかない場合、対象となる壁にコンセントの口があれば、コンセントのカバーを外す事で、直接壁の材質をみることができます。コンセントカバーの付いていた壁の断面をドライバー等で軽くなぞってみて、白い粉がつくようであれば、石膏ボード壁です。

目視



※壁にピンを刺し、ピン先に白い粉が付いていれば、石膏ボード壁

設置後、必ず実行していただきたい注意点

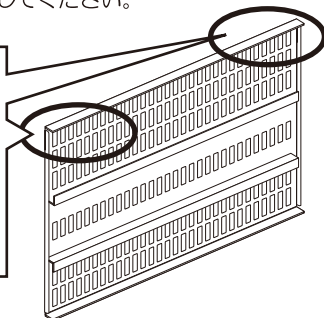
●地震や振動などの揺れが掛かった場合、及び半年毎程度にホッチキス設置が継続しているか再確認してください。

針とフィルムが浮いていた場合、再度打ち直してください。その場合、前回のフィルムホッチキス穴とずらして打って下さい。前回のホッチキス穴とダブってしまう場合やフィルムが傷んでいる場合、フィルムを交換してください。

目視

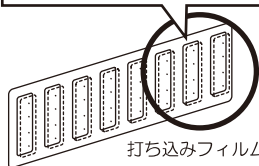


壁面プレート（特に上端をチェック）目視し、フィルムの浮きがあったら、ホッチキスを打ち直します。



打ち直す場合、前回のホッチキス穴とダブらない位置で打ってください。

※ホッチキス穴がダブらないと打てない場合、フィルムの交換タイミングです。



打ち込みフィルム

※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なる場合があります。

その他、ご使用・お取付にあたってのご注意



注意

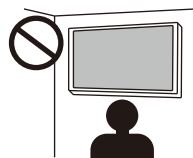
表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に、傷害を負ったり物理的な破損・損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 設置場所について -

●往来が激しい場所、振動のある場所、頭上落下が有り得る高い場所への設置はお止めください。

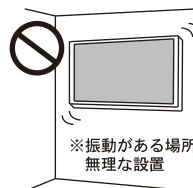
●ぶら下がったり、寄りかかったり、負荷を故意に掛けないで下さい。

万一の落下があった場合に、事故の発生の原因になります。



※頭上設置は絶対に×

頭上設置は× ぶら下がったりは×



地震等の天災、及び、取り付け組み立て不良による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承下さい

●雨漏り等、湿気が多い場所、水分を含んだ形跡のある壁には絶対に使用しないでください。
石膏ボードの強度が弱くなり、落下による事故の発生の原因になります。

- 設置について -

●設置の作業は、2名以上で行ってください。

特にテレビを持ち上げて引っかける作業の時は、事故の無いように細心の注意を払ってください。

●取付確認が取れている薄型テレビ以外には絶対に使用しないでください。

お取付け前に適合するかサイトでご確認ください。

金具適合診断 ▶ https://starplatinum.co.jp/product-detail/?product_id=542

●お客様自身での商品の分解や修理・改造は絶対にしないでください。

商品の破損や落下による事故の発生の原因になります。

●「テレビの説明書」に記載している「設置時の注意」内容を順守してください。

設置するテレビの説明書に記載されている注意事項を良くお読みください。

●各部品やネジ類は、所定の場所に確実に取り付けてください。

取り付けの不備は、テレビの落下による事故の原因になります。

- 設置後の使用時について -

●上下角度調節機能は、設置後は使用しないで下さい。

壁にテレビを掛けたまま上下角度調節を行うと壁に大きく負担がかかります。設置時に決めた上下角度を変更しないようにしてください。どうしても変更する場合、テレビを外してから上下角度を変えるようにしてください。

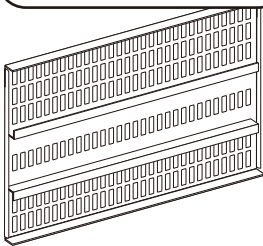
●定期的にネジ緩み・ホッチキスの浮きが無いか確認し、締め直し・打ち直しを行ってください。

締め直し・打ち直しをしても違和感がある場合、即刻使用をお止めください。

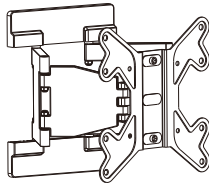
その他、設置に不適合であると思われる場所への設置は絶対に止めてください。

部品リスト

※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なります。



A. ベースプレート ×1 枚



B. 金具本体 ×1 台



C. 六角レンチ



D. メガネレンチ



E. M5 六角ナット ×6 個



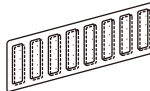
F. レンチ



G. ワッシャー ×6 個



H. 専用ホッチキス針 ×1 箱



I. 打ち込みフィルム ×2 9 枚



J. ホッチキスガイド ×1 個

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。



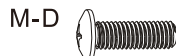
M-A M4 × 14mm ボルト
4 本



M-B M5 × 14mm ボルト
4 本



M-C M6 × 14mm ボルト
4 本



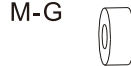
M-D M8 × 20mm ボルト
4 本



M-E M5 × ワッシャー 4 個



M-F M8 × ワッシャー 4 個



M-G スペーサー 8 個

設置に必要な道具

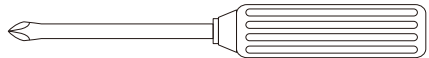
ほぼ 180° 開くホッチキス



ホッチキスは、もっとも一般的なNo.10用ですが、低品質な物を使用すると、打ち損じやホッチキスの故障の原因となりますのでご注意ください。

推奨ホッチキス (MAX社製:HD-10D)

⊕ドライバー



中型で長めの物があると作業が楽になります。

- ホッチキスの針が足りなくなった場合 -

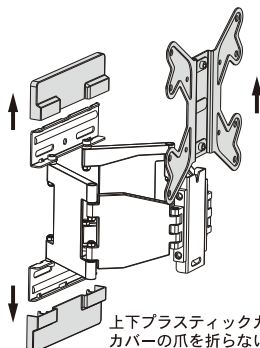
当商品には、ステンレス製のホッチキス針を使用します。付属の針で十分な本数がありますが、仮に「打ちミス」「場所の付け替え」「経年使用による針の浮きによる打ち直し」が発生した場合、ステンレス製のホッチキス針を購入・使用するようにしてください。

※鉄製の針ですと、酸化して錆びが壁紙を汚す可能性があります。

設置作業

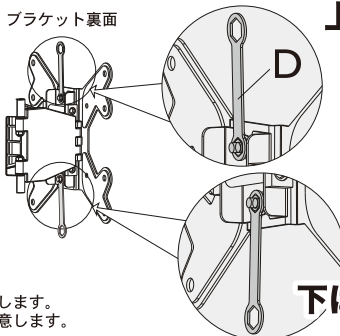
ステップ1 テレビブラケットの分解

図を参考に、金具本体〔B〕からカバーとブラケット部分を取り外します。
ブラケット裏面のナットを回して外し、ブラケットを上にもスライドさせて外してください。



上下プラスチックカバーを外します。
カバーの爪を折らないように注意します。

ブラケット裏面



上は緩める



テレビブラケットをレンチを使って外します。
ナットは、上下2か所あります。

■上のナット
→少し緩める

■下のナット
→外す。無くさないように

下は外す

〔M6 ナット〕



※もともと外れている時もあります。
その場合パーツ袋に入っています。

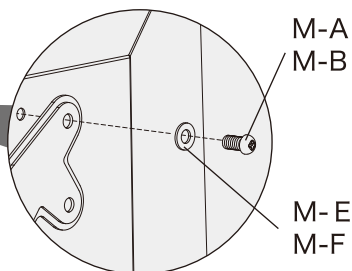
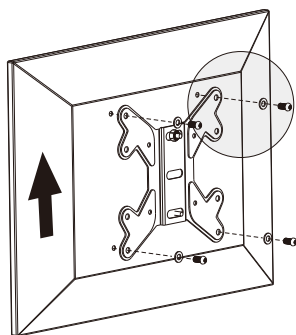
- 壁面プレート部にあたる上下の黒いプラスチックカバーを外します。
- レンチ〔D〕を用いてナットを緩めて、テレビブラケット部を外します。



- 1) テレビブラケットを外すときは、上下2か所のナットを緩めます。
- 2) 上部のナットは緩めるだけで構いません。下部のナットは完全に外します。
(下の M6 ナットは、もともと外れてパーツ袋に入っている場合もあります)

ステップ2 テレビへのテレビブラケットの取り付け

ステップ1 で取り外したテレビブラケットをテレビに取付けます。
ネジ穴を合わせて、〔M-A、M-B〕とワッシャー〔M-E、M-F〕で取付けます。



※ブラケットの上下を間違えないように注意してください。

ステップ3-A ホッチキス設置に入る前に・・・



注意

・壁は石膏ボードですか？

→1 ページを見て、石膏ボード壁である事を確認してください。



危険

・設置場所とテレビの荷重は大丈夫ですか？

→人の往来がある場所、特に頭上への設置は絶対に避けて下さい。

又、テレビは 15kg までを厳守して下さい。

ステップ3-B ホッチキスの使い方と壁面への打ち込みイメージについて

1

ホッチキスの使い方を説明します。正しく打ち込む事で強度が保たれます。

決して難しくありませんので、しっかりと覚えてください。

1) 打ち込みフィルム [I] をベースプレート [A] にあてがいます。

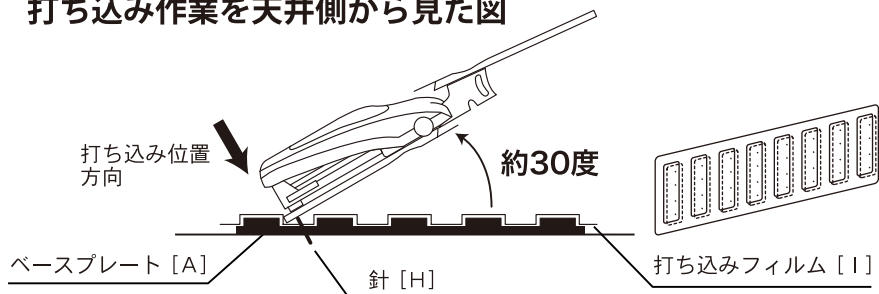
2) ホッチキスを壁面と約 30 度の角度に保ち、打ち込みフィルムに均等に当てがいます。

3) 動かさないように片手でしっかりと保持します。

4) もう一方の手で打ち込み角度を保ちながら確実に針を打ち込みます。

※専用針 [H] が完全に打たれていない場合は、一度針を抜いてやり直します。

打ち込み作業を天井側から見た図



POINT

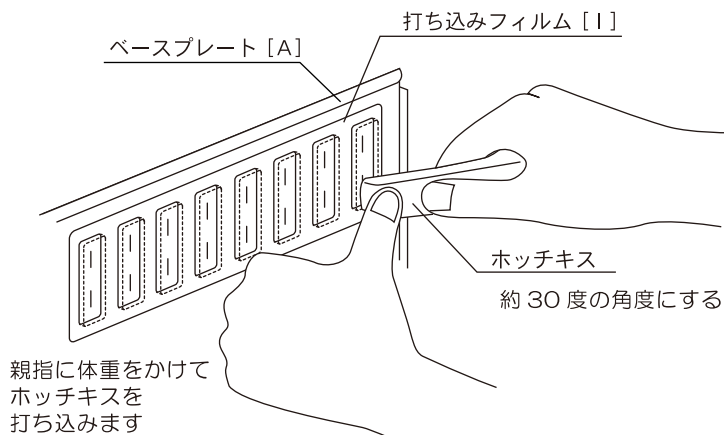
何度か打ってみるとコツがつかめます。

慣れるとかなりのスピードでテンポよく壁に打てるようになります。

2

実際の打ち込みイメージを説明します。しっかりと作業のイメージを覚えてください。
下の図の打ち方が一番打ちやすいホッチキスの持ち方です。

最も打ちやすいホッチキスの保持スタイル



専用針 [H] を打ち込みフィルム [I] 越しに 1 枠（窓）につき上下 2 本ずつ打っていきます。

- 作業は一人でも出来ますが、2 名以上で行いましょう。
- 打ち込みフィルムは必ず全て使用してください。全てのフィルムに正しくホッチキスを打つ事を前提に強度設計をしています。

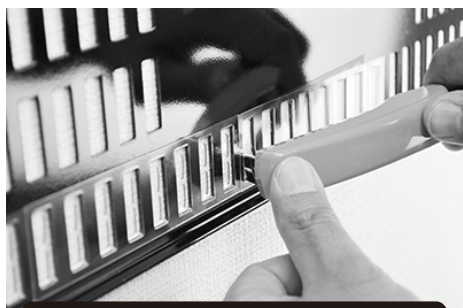
※推奨ホッチキス（MAX 社製 HD-10D）を使用する場合、別紙のホッチキスガイドの説明書をご覧ください。

- 2名以上で作業を行いましょう。●全てのフィルムに正しく上下2本ずつホッチキスを打ち込みます。

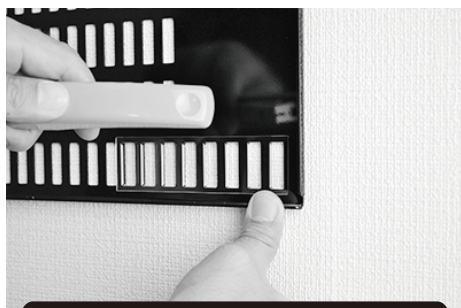


警告

全ての窓に必ず2本ずつホッチキスを打ってください。
規定の本数(464本)ホッチキスを打たなかった場合、落下の危険があります。



写真が打ちやすいフォームです。参考下さい



隅は 特に強く押し当ててしっかりと打ちます

ステップ3-C 石膏ボードへのホッチキスの打ち込み

実際にホッチキスを使用して石膏ボード壁に設置をします。最初の数回は上手く打てないかもしれませんが、慣れると連続で打てるようになります。慌てずに慎重に作業を進めましょう。

やり直す場合、以前のホッチキス穴に重ならないように打ち直します。穴を重ねないと打てない場合、設置場所の変更やフィルムの交換が必要になります。

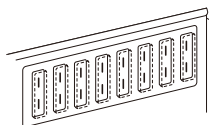
壁の隅でホッチキス止めの練習もおススメです。

プレートには若干歪み（1cm以内程度）があります。

- 1) テレビを壁掛けする位置を決めます。当説明書1ページの「石膏ボード壁の見分け方」を参考にして、間違いなく取り付けける壁が石膏ボード壁であることを確認してください。
- 2) ベースプレート「A」が水平である事を確認し、一人がベースプレートを支えます。
- 3) もう一人が、右上、もしくは左上に打ち込みフィルム「1」をあてがい、ステップ3-Bを参考にホッチキス止めを行います。



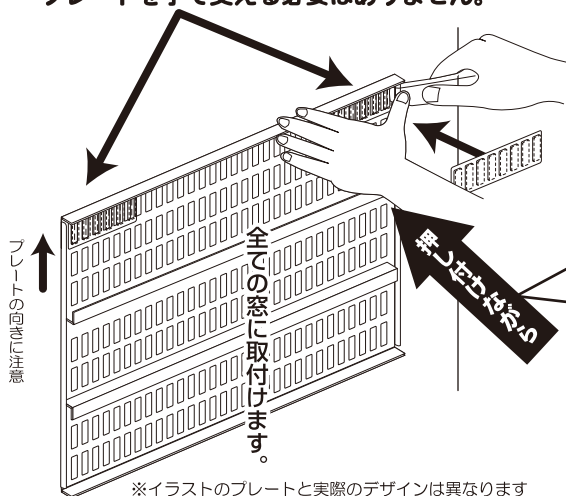
二人での作業がおススメです。



フィルムの窓それぞれに
2本ずつホッチキスを打ちます。
失敗して打ち直すときは、
ホッチキス穴が重ならないように！

- 4) 1枚のフィルムにホッチキスを全て打ったら、反対側の上部にもフィルムをホッチキス止めします。下の図を参照して下さい。上端の左右です。
- 5) この段階で、1人がベースプレートを支える必要は無くなります。水平が取れているか、目視で良く確認します。
- 6) 残りのフィルムを使って全てのプレート穴にホッチキスを打ちます。

図のように上部左右の端、2枚のフィルムを止めれば、プレートを手で支える必要はありません。



※イラストのプレートと実際のデザインは異なります

プレートを押し付けながら・・・

設置強度を高めよう!!

石膏ボード壁には目には分からないレベルで歪みがあるケースが多くあります。ホッチキス止めをする際には、プレートを壁に押し付けて、フィルムの浮きが出ないようにしっかりとホッチキスを打ち込んでください。

※石膏ボード壁に歪みがあって、どうしてもプレートが浮いてしまう場合、その位置は設置に適しませんので、場所を変えてみてください。

全 29 枚のフィルムを打ち込みます。休憩を入れながらで問題ありません。



警告

全ての窓に必ず2本ずつホッチキスを打ってください。

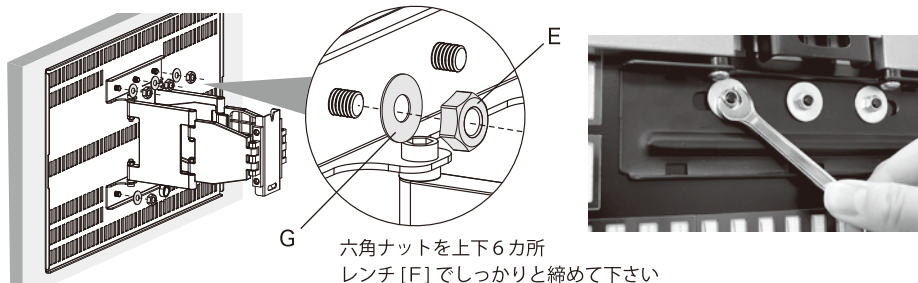
規定の本数(464本)ホッチキスを打たなかった場合、落下の危険があります。

ステップ 4

金具本体のベースプレートへの固定

ホッチキス止めですべてのフィルムを止めてから

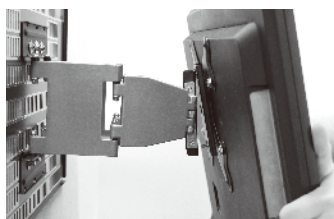
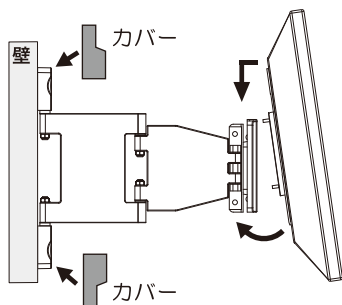
金具本体 [B] を、壁に取り付けたベースプレート [A] の上下6箇所のネジ山に差し込み、六角ナット [E] とワッシャー [G] でとめます。上下を間違えないようにしてください。



ステップ 5-A

テレビの金具本体への取り付け

下図を参考にして金具本体 [B] にカバーを取り付け、ステップ 2 でテレビに取りつけたブラケットを引っ掛けます。まず上部を引っ掛けてゆっくりと下部を沿わせませす。



二人での
作業推奨



注意！ 壁面プレートに過度の荷重が掛からないように、ゆっくりと丁寧に引っ掛けて下さい。



ご注意

最重要ポイント

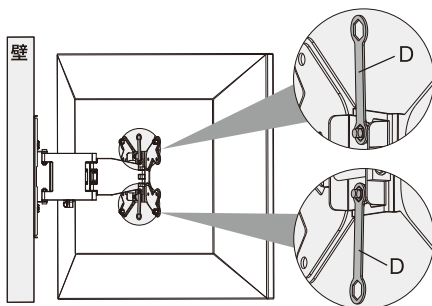
この段階では、テレビの落下の可能性があります。十分に注意してください。

特に 37 インチ以上程度になると正面からは引っ掛け位置が分かりません。必ず 2 名以上で作業を行ってください。無理に作業すると、せっかく止めたホッチキスに余計な負荷が掛かり危険です。

ステップ 5-B

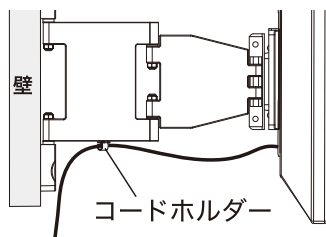
六角ナットのロック

テレビが中央にある事を確認します。
ステップ 1 で取り外したナットを
ブラケット裏からメガネレンチ [D] で
しっかりと締めます。



ステップ6 コードホルダーの利用

お好みでコードホルダーを利用して、配線を上手く処理して下さい。

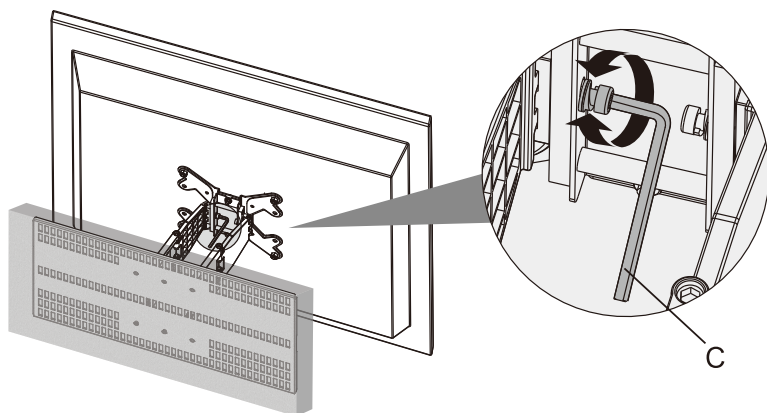


ステップ7 角度調節について

左右の角度調節は、テレビを引き出して行ってください。ホッチキス設置の強度は十分にありますが、強引な引出しはしないようにして下さい。

テレビの上下角度調節

テレビをお好みの角度にして、図を参考に六角レンチ [C] でブラケット裏の左右のナットを締めて固定します。



壁への負担を軽減する為に

設置強度を高めよう!!

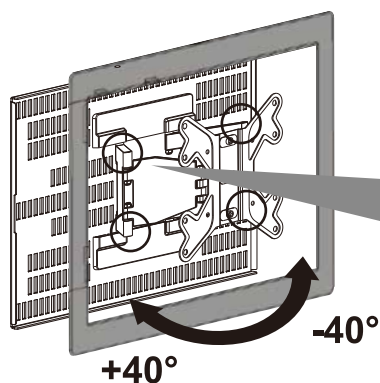
基本的に上下の角度調節は設置時に決めてその後は動かさないようにします。
どうしても角度を変えたい場合は、壁に負担を掛けないように注意してください。



初回設置時に上下の角度は決めて固定するようにして下さい。

テレビの左右角度調節

左右の動きが固い場合、レンチを使って調節する事が可能です。



左右の動きが固く感じる場合は、左図を参考に六角レンチ [C]、メガネレンチ [D] を使って調節してください。
※緩めすぎにご注意ください。

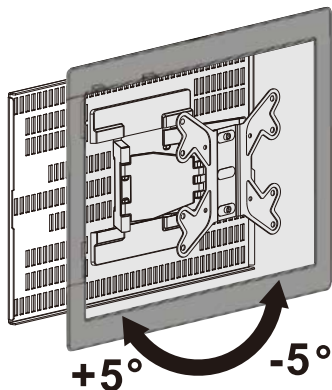
左右のアームにある
上下2ヶ所のネジを
メガネレンチ [D]、
レンチ [F] を使って
調整します。



優しくめに取扱い、強引に引き出さないで下さい。

テレビの水平調節

仮にテレビの画面が若干傾いている場合、テレビを持って調節する事が可能です。

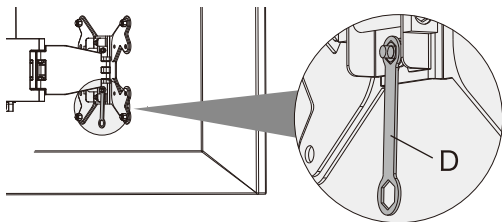


●水平調節用六角ナット

水平調節部が固くて動かない場合は、ブラケット裏の下部の六角ナットを緩めて調節します。

※緩めすぎると外れる可能性がありますのでご注意ください。
2名以上でテレビを支えながら作業を行ってください。

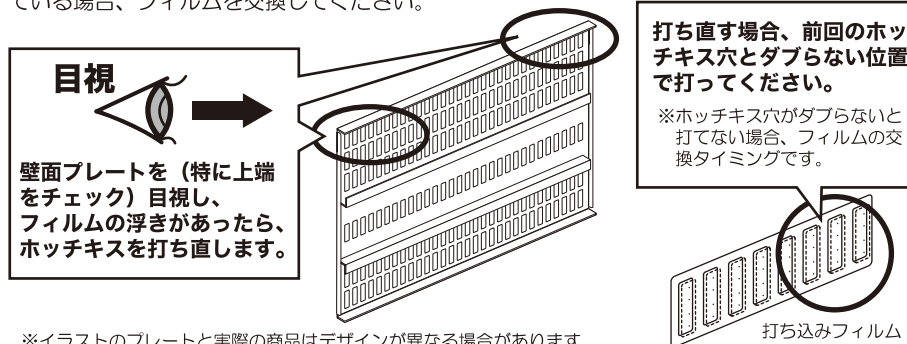
調節が終わりましたら、六角ナットをしっかりと締めてください。



設置後、必ず実行していただきたい注意点

●地震や振動などの揺れが掛かった場合、及び半年毎程度に ホッチキス設置が継続しているか再確認してください。

針とフィルムが浮いていた場合、再度打ち直してください。その場合、前回のフィルムホッチキス穴とずらして打って下さい。前回のホッチキス穴とダブってしまう場合やフィルムが傷んでいる場合、フィルムを交換してください。



※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なる場合があります。

撤去について

ホッチキスを取る時は、各フィルム毎に数本ホッチキスを抜くと、フィルムを掴んでゆっくりと剥がす事で楽に撤去出来ます。慌てて作業して壁紙がめくれたりしないように注意下さい。

最後に

快適なテレビ壁掛けをお楽しみいただく為に、以下の点にご注意下さい。

定期的にホッチキスに浮きが無いか確認下さい

頭上設置、往来設置はくれぐれもお止め下さい

左右の角度調節時は強引な引出しはしないで下さい